



5/10

広大な史跡公園で校外学習

大和郡山市立治道小学校校外学習

5月10日、唐古・鍵遺跡史跡公園で、大和郡山市立治道小学校の校外学習が行われました。

訪れた児童たちは、午前中はゲームを楽しみ、午後からは火おこし体験を行い、皆熱中して取り組んでいました。



1



2

3



1 ゲームを楽しむ 2 火おこし体験
3 火が付いた！



6/12

田原本町自衛官募集相談員委嘱式
国を守りたい思いを応援

6月12日、田原本町自衛官募集相談員の委嘱式が町役場で行われ、2人が委嘱されました。今後は、地域の事情に精通する相談員として、志願者に関する情報提供や募集に対する援助などを行います。

なお、任期は平成31年4月1日から令和3年3月31日までの2年間です。



5/11

交通安全フェスタ
遊んで学んで交通安全

道の駅「レスティ 唐古・鍵」でJAF主催の交通安全フェスタが開催されました。会場では、レッカー車の展示のほか、子どもが楽しみながら交通安全を学べるよう子ども安全免許証の発行や、シートベルト効果体験車を使用した時速約5kmの衝突体験などが行われ、にぎわっていました。

6/2

音楽が持つパワーを全力で届ける

たわらもと吹奏楽団第15回弥生の里コンサート

「たわらもと吹奏楽団第15回弥生の里コンサート」が弥生の里ホールで開催されました。今年で15回目の開催を記念し、ゲストにマルチサクソプレイヤーの平原まことさん、マレーシア国立交響楽団首席フルート奏者である中川恵子さんの2人を迎えました。中学校合同ステージやキューティーズによるダンスも披露され、満員のホールを盛り上げていました。

会場の前では募金活動が行われ、6万6,769円のお金が集まり、町社会福祉協議会の善意銀行に寄付されました。



▲善意銀行に寄付



▲シンフォニックステージ



▲キューティーズのダンス



▲中川さんのフルート演奏



▲中学校合同ステージ



▲協定を締結した若林センター長（写真左）と町長（写真右）

5月29日、京都大学百周年時計台記念館で、田原本町と京都大学経営管理大学院経営研究センターが「広域的なまちづくりなどの課題解決に資する事業・研究に関する連携協定」を締結、調印式を行いました。

今後、地域経営に資する事業、地域振興にかかる事業・研究を連携して実施し、学術的アプローチから持続可能な地域の活性化に取り組みます。

5/29

地域の活性化に向けて
京都大学経営管理大学院経営研究センターと協定を締結



▲50周年の思いをのせた歌声がホール中に響く

田原本中央合唱団創立50周年さわやかコンサートが、弥生の里ホールで開催されました。「三つの汽車のうた」や「落葉松」、「いい日旅立ち」などの名曲が、団員たちの創立50周年への思いをのせた力強い歌声となってホール中に響き渡りました。

50年を振り返ってのインタビューでは、創立時のメンバーである松原さんが「50年間、大好きな歌を皆と続けられたことが何よりうれしい」と話しました。

5/18

50周年の思いをのせて
田原本中央合唱団創立50周年さわやかコンサート



▲蛇を担ぎ村中を練り歩く



▼暴れる蛇に巻かれる

〈今里〉

6月2日、五穀豊穡と無病息災を祈願する伝統神事「蛇巻き」が今里と鍵で行われました。

今里では麦わらを編んで作られた長さ18メートルになる蛇を子どもたちが担ぎ村中を巡行。家々を訪れ「おめでとう」と声を上げお祝いしました。

途中、蛇は急に暴れ出し、近くにいた人を巻き込みます。巻かれると1年を無病息災で過ごせるといわれているため、巻かれた人も笑顔をみせていました。



▲力を合わせ蛇を担ぐ



▼蛇が後ろへと引っ張られる

〈鍵〉

鍵の蛇は頭と胴体が稲わらで、尾が稲わらと麦わらで作られており、その頭の重さは約200キログラムにもなります。大人と子どもで頭を担ぎ、ゆっくりと村中を練り歩きました。道中、「引っ張れ！」の合図で尾を後ろへと引っ張る子どもたちに行く手を阻まれつつも、先頭はその力に負けないように力強く進みました。

6/2

蛇を担いで巡り、豊作を祈願
今里の蛇巻き・鍵の蛇巻き